

Okinawa Hokubu Hospital

沖縄県立北部病院

初期臨床研修医募集案内



*Think globally
Act locally*

病院長メッセージ



沖縄県立北部病院
院長 久貝 忠男

キーワードは「少数精鋭」。研修医1人当たりが経験できる症例数は年間1,000例にも達し、そのバリエーションも豊富です。同時に、コンパクトな組織だからこそ実現できる、マイペースな研修環境を魅力に感じている研修医もいます。

各県立病院とも連携し、先輩が後輩を指導する屋根瓦方式を基盤として、当院らしさを打ち出した臨床研修プログラムを心がけています。

医師として最初の二年間、「ジェネラル力」を鍛えたい者は是非当院で研修することを勧めます。

県立北部病院の3つの特徴

特徴1 少数精鋭！圧倒的な症例経験

- ◆ 救急患者数は年間22,000人（500～1,000床の大規模病院で年間30,000～40,000人）。1人あたり年間1,000人以上の豊富な経験ができる超実践型研修病院です。もちろん診療中や診療後には指導医、先輩医師から濃厚なフィードバックが得られます。
- ◆ バリエーションとボリュームでどこに行っても通用するジェネラリストを育成します。

特徴2 屋根瓦方式指導

- ◆ 県立中部病院流・元祖屋根瓦式の指導で、先輩は後輩に指導しながら一緒に成長します。
- ◆ 疑問点はその場で解決！当院は県立中部病院、県立南部医療センター・こども医療センターと連携しており、多数の若手指導医が派遣されます。垣根のない指導医に、疑問を感じたその時に質問ができます。

特徴3 一生に一度のいい経験！離島研修

- ◆ 当院附属の離島診療所でプライマリケアを学ぶ離島研修を行います。
- ◆ 都市部の医療とは一味も二味も違います。離島研修での経験は永遠の財産になります。

こんな病院です

300床弱の中規模病院ながら、人口約13万人の沖縄県北部地域を支える中核病院。悪性疾患、心・血管系などの慢性成人病の診療・管理から、あらゆる急性疾患、外傷まで幅広く引き受ける地域密着型の病院です。多彩な疾患を偏りなくハイボリュームに診療する、都会にはない研修をすることができます。



伊平屋島の海

初期研修プログラム

2年間の初期研修は主に当院にて行われますが、精神科については国立病院機構琉球病院、地域医療研修については伊是名診療所(伊是名島)、伊平屋診療所(伊平屋島)にて行います。

院外研修として4週間、他院での実習を選択できます。

内科、外科、小児科、産婦人科、救急、精神科、麻酔科、地域医療研修は、必修とします。

研修医の人数が少ないため、院内研修中の選択科やローテーション時期については相談次第で柔軟に対応可能です。

▶ □ローテーションの1例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 16週			小児科 6週		救急 4週	外科 8週		選択外科 6週	麻酔科 4週	産婦人科 8週	
2年目	内科 12週			救急 4週	精神科 4週	地域 医療 4週	選択科 28週					

※救急必修の残り4週は、土日の救急当番で行うか選択科として実施する。

1年目

内科16週、小児科6週、救急4週、外科14週(内6週は選択外科)、麻酔科4週、産婦人科8週をローテーションします。

2年目

内科系12週、救急4週、精神科4週、地域医療4週、選択科28週

※選択科24週で以下の科を複数ローテートでき、その中で院外研修は4週まで可能です。

▶ □選択科

内科、外科、小児科、産婦人科、麻酔科、救急、精神科、地域医療、整形外科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻科、脳外科、病理、放射線科、眼科は選択科とする。

▶ □12週の救急ローテーション

救急ローテーションの残り4週は、土、日の当番等で補う。

連携協力施設

- 琉球大学病院
- 沖縄県立中部病院
- 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
- 沖縄県立宮古病院
- 沖縄県立八重山病院
- 伊是名診療所
- 伊平屋診療所
- 国立病院機構琉球病院
- 北部地区医師会病院
- やんばる協同クリニック
- やまだクリニック
- 北部形成・外科診療所



みなさまに信頼され、心ある病院

研修の魅力

臨床



貴重な経験
離島研修



豊富・多彩な
症例



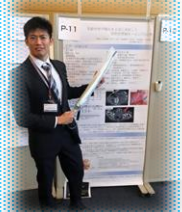
勉強会も
充実



医師として第一歩を踏み出したばかりの初期研修医たちも、この病院では大事な戦力として数々の仕事を任せられます。膨大な症例を前に担当医として診療をしながら仕事を覚えていく超実践型スタイル。最初は右も左もわからず、1学年上の研修医の先輩が自分で方針を決定し、主体的に診療しているのを見て、憧憬と焦燥にかられるでしょう。1例1例大切に診療していけば、数か月もすれば仕事にも慣れていきます。たくさんの症例を経験していく中で、重症患者やrare diseaseにも数多く直面しますが、上級医と一緒に文献を検索し、自力で治療を完遂する臨床力がつきます。たくさんの障壁を乗り越えながら成長していく、研修修了後には皆、どこに行っても第一線で活躍できる医師として立派に巣立っていきます。

教育

学会発表



毎年内科や外科は県立中部病院、小児科は県立南部医療センター・こども医療センターから若手指導医が派遣され、高水準の教育を受けることができます。昔ながらの屋根瓦式教育スタイルを貫き、古き良き研修スタイルを残す中でも、常に新しい意見を取り入れ、検討、実践し、時代に合わせて進化し続けてきました。カンファレンスやコアレクチャーなどを通した座学も毎週行い、有名講師を招いた研修会やワークショップも当院で主催したり、提携病院の講演会などにWeb参加したりしています。座学で学んだことを臨床ですぐ実践できるので、日々成長を実感できます。また、沖縄県医学会をはじめ、数々の学会発表を経験することができ、指導医の熱心できめ細やかな指導から、毎年数多くの賞を受賞しております。



垣根のない
指導医



少数精鋭
みんな仲よし

生活

名護の魅力は何といっても綺麗な海と住み心地の良さ。

病院に併設する寮は家賃光熱費無料で、新築同然の綺麗な広い部屋で2年間快適に過ごすことができます。

病院の周辺には繁華街やイオン、MEGAドン・キホーテなど生活する上で十分すぎるほどの環境が整っています。また、有名なハンバーガーショップやステーキハウスなど、沖縄ならではのグルメも堪能できます。病院から車で5分ほどすれば、本島一綺麗な北部の海が広がっています。サーフィンやダイビング、釣りなど沖縄ならではのレジャーで余暇を満喫してください。



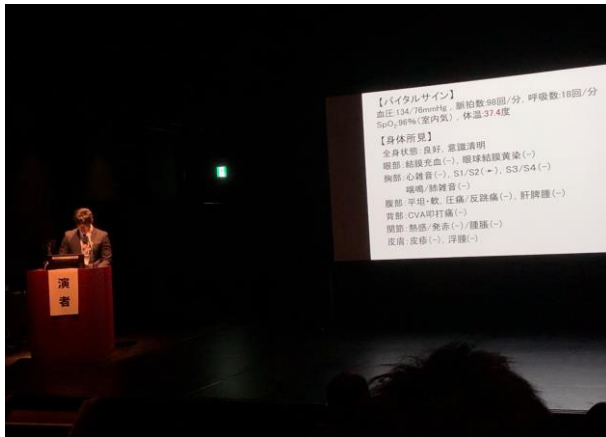
On-offの
切り替え



肉好きは
名護へ！



学会発表



第127回日本循環器学会九州地方会
優秀賞（令和元年12月）



第128回沖縄県医師会医学会総会
審査員特別賞（令和元年12月）

臨床だけでなく、教育にも力を入れて研修を行っております。様々な学会発表に参加し、例年数多くの賞を受賞しております。

【主な受賞歴】

第126回沖縄県医師会医学会総会
第323回日本内科学会九州地方会
第124回沖縄県医師会医学会総会
第319回日本内科学会九州地方会
第316回日本内科学会九州地方会

最優秀賞(平成30年12月)
初期研修医奨励賞(平成30年11月)
審査員特別賞(平成29年12月)
初期研修医奨励賞(平成29年10月)
初期研修医奨励賞(平成29年1月)

さまざまなレクチャー



テレビ番組『ドクターG』に最多出演されている人気講師、鈴木富雄先生を毎年お招きしてカンファレンスを開催しています。



院長、外科スタッフによる外科縫合の練習風景です。

院内ICLS講習会の様子です。職員を対象に毎月1回無料でコースを開催し、講習修了時にはICLSコース終了認定が受けられます。

研修診療科紹介

内科

- 県立中部病院出身の医師が、指導医として多数在籍しており、高水準の教育環境が整っています。若いスタッフが多く、LINEなどでも気兼ねなく相談できます。
- 特殊な疾患に偏ることなくcommon diseaseが数多く経験できるため、プライマリスキルを十分に習得でき、救急疾患も自信を持って診療することができるようになります。初療から退院まで一貫して主体的に診療でき、先を見据えた管理ができます。
- 超高齢化でmultimorbidity(多併存疾患状態)が当たり前となっていく将来、どの専門科に進んでも併存する内科疾患や合併症、ポリファーマシーなどに対応するジェネラル力を養成できます。

外科

- 1年目から、ほとんどの手術に助手や執刀医として参加することができます。
- 病棟管理は研修医が主体となっており、術後管理も行います。重症患者の術後ICU管理もすべて自科で行うため、入院から退院まで一貫性を持って診療に当たることができます。
- 一般外科8週間の他、脳外科 / 整形外科 / 泌尿器科 / 形成外科を6週間ローテーションします。

小児科

- 救急室や外来での初期診療から入院管理を通じ、一貫して患者の診療にあたることで、数多くのcommon diseaseを経験し、小児患者の一時対応に自信を持てるようになります。
- 系統だった小児の評価を行い、髄膜炎や敗血症など重症患者を見逃さない力を習得できます。
- 正常新生児の診察、帝王切開やハイリスク出産に立ち会うことで、新生児処置を学ぶことができます。

産婦人科

- 産科救急、婦人科救急の症例を学ぶことができます。
- 専門医複数体制下で2カ月間に5～10例の経膈分娩と10数例の帝王切開が経験できます。
- ハイリスク妊婦の診療をとおして、各種産科合併症の知識を深めることができます。
- 一般婦人科疾患の研鑽を積むことができます。

救急科

- 年間2万2,000人、救急車3,000件を受け入れる北部地区きっての中核病院。
- ER型救急で、急性上気道炎や肺炎、尿路感染症などのcommon diseaseから心筋梗塞、脳出血、大動脈解離、重症外傷などの致死性疾患、膠原病や精神疾患、新興感染症など様々な患者を一手に引き受け、幅広い症例を経験できます。
- 勤務時間中は波のように患者が押し寄せてくることもあるが、on-offがはっきりしており、勤務が終わればfree time。研修医のオアシスとなっています。

初期研修医の一日

～8:00 採血

毎日の採血が緊急時の迅速な手技の秘訣。

8:00 ケースカンファレンス

毎週木曜日は担当患者のプレゼン。グループ全体で知恵を絞る。外科は手術室へGo！

8:30 上級医とカルテのチェック

グループで前日のカルテをチェック。

9:30 回診、病棟業務

グループみんなで約50人の担当患者さんに会いに行く。

12:00 ランチ

ランチョンセミナーでみんな一緒に楽しく勉強。

13:00 病棟業務

患者さんの家族と話したり、手技を行う。

16:00 病棟回診

採血など検査結果を確認して上級医と次の検査、治療計画をディスカッション。

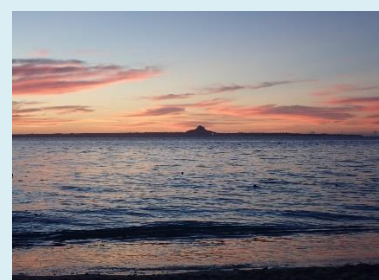
17:00～ 帰宅



いざ、楽しく夜の街へ



休日は海へ。研修の疲れを癒す



北部でしか見られない景色

研修医の声



私は東京の大学出身で、学生時代から産婦人科を希望していました。クリクラで訪れた際、北部病院は北部地区の周産期の中核として地域に根ざした医療を提供している所に魅力を感じました。また、どの科に進むにしても、研修医のうちはGeneralな力を身につけた方が良いと思い、年間1,000例もの症例数を経験できる北部病院での研修を志望しました。4月に医師として働くようになってすぐに病棟業務も当直中のER外来も1年目が最初に対応する事になりました。もちろん最初のうちは何をしていたか分からず慌ててしまいます。しかし、北部病院は1学年5人と研修医の人数が少ない環境だからこそ、上級医の先生からその都度熱心に指導してもらえるため実用的なスキルを現場の最前線で身に付けることができます。他のどの病院にも負けないくらい密度の濃い時間を過ごしている自信しかありません。医師として大きく成長したいと思ってる人には北部病院の研修はぴったりだと思います。男性、女性関係なく一緒に研修生活を送ってくれる人をお待ちしています！

指導医より



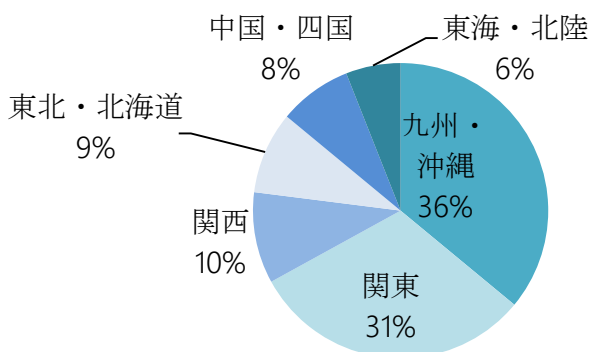
沖縄県立北部病院研修管理委員会
副委員長 永田 恵蔵

“Think globally, Act locally”

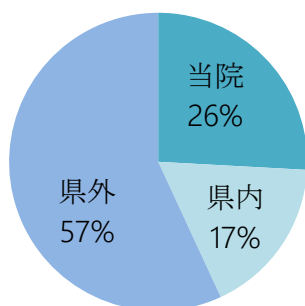
沖縄県立北部病院で臨床初期研修を考えている学生の皆様、初めまして北部病院総合診療科の永田恵蔵です。北部病院は、沖縄県北部地方の基幹病院として機能する総合病院です。北部地区の人口は約13万人程度ですが、医療圏の面積は沖縄県土の半分程度となっており、様々な疾患・問題を抱えています。北部病院の研修目標は、地域型基幹病院として地域に寄り添い、地域医療を学び、チーム医療の一員である医師として成長することです。研修医の先生方が活躍する場面も多く、業務の負担が、大きく感じることがありますが、熱心な指導医の充実したサポートのもと研修に取り組むことができます。是非、医師としての大事な最初の2年間、地域に根ざし、大きな視野を持って、共に北部病院で医療に取り組みましょう。

出身大学

- 琉球大学
- 熊本大学
- 佐賀大学
- 大分大学
- 横浜市立大学
- 京都大学
- 大阪大学
- 金沢大学
- 徳島大学
- 杏林大学
- 獨協医科大学
- 近畿大学
- 福岡大学
- 愛知医科大学
- 岩手医科大学
- 弘前大学
- 東京慈恵会医科大学



卒業後の進路



- 沖縄県立中部病院
- 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
- 聖路加国際病院
- 亀田総合病院
- 東京ベイ・浦安市川医療センター
- 関東労災病院
- 湘南鎌倉総合病院
- 八戸市立市民病院
- 麻生飯塚病院
- 出身大学 他

母校の先輩が君を待ってます！



指定医療機関

- ・保険医療機関
- ・労災保険指定
- ・生活保護法指定
- ・結核予防法指定
- ・伝染病予防法指定
- ・身体障害者福祉法指定
- ・母体保護法指定
- ・精神保護法指定
- ・へき地医療拠点病院
- ・臨床研修指定病院
- ・助産施設指定
- ・看護教育実習指定病院
- ・第2種感染症指定医療機関
- ・災害拠点病院
- ・DMAT指定病院
- ・地域医療支援病院
- ・沖縄県難病医療協力病院
- ・地域周産期母子医療センター
- ・更正医療指定医療機関

認定学会

- ・日本整形外科学会認定研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本循環器学会専門医研修関連施設
- ・日本外科学会専門医研修修練施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本病理学会研修登録施設
- ・日本透析医学会 教育関連施設
- ・日本形成外科学会教育関連施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期専門医認定施設
- ・日本口腔外科学会准研修認定施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- ・日本透析医学会 教育関連施設

初期臨床研修医の処遇

■ 身分	新地方公務員法第22条の2第1項に定める一般職の地方公務員
■ 給与	1年次：289,200円 2年次：297,200円
■ 勤務時間	・午前8時30分～午後5時（うち休憩時間12時15分～13時） ・研修医当直: 週に1～2回（救急当直も含む）※当直あけ、休み。 ・研修時間の延長は病院との協議で決定する
■ 手当	・当直手当：1年次 約39,000円/回 2年次 約40,000円/回 ・期末手当・通勤手当（2km以上）・休日勤務手当・退職手当 ・学会、研修会等への参加時、旅費支給あり（回数制限あり）
■ 休暇	・有給休暇：年間10日 ・その他慶弔休暇
■ 宿舍	敷地内宿舍あり（家賃・光熱水費無料、退去時清掃費は入居者負担）
■ 社会保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害保障保険
■ 健康管理	定期健診、B型肝炎ワクチン接種など
■ 医師賠償責任保険	病院賠償保険に加入

▶ 研修医宿舍（レジデントハウス北桜館 H28年創設）

研修医等の宿舍（1LDK）15戸、仮眠室（1R）5戸
筋力トレーニング室1戸
3階建て鉄筋コンクリート造

< 外観 >



< 内観 >





募集要項

■ 定員

6 名

■ 方法

全国マッチングによる公募

■ 選考方法

病院実習および面接

選考手続き日時

下記期間中応募者の希望する日時
(2022 年4月1日 ~ 2022年9月30日)
※土日、祝日、慰霊の日(6/23)を除く

選考手続き場所

沖縄県立北部病院
(面接時は白衣、名札着用のこと)

必要書類

履歴書 (写真付き)

- ◆ 沖縄県が遠方であることを考慮し当院の選考手続 (病院実習と面接) は、できるだけ応募者の都合に合わせております。
- ◆ 応募者は、少なくとも一週間前までに下記の問い合わせ先まで面接の希望日時をお知らせください。
- ◆ 原則として病院実習の最終日に面接を行い、病院実習期間は、平日で1日 ~ 5日間とします。実習の際の名札、白衣、聴診器は各自ご持参ください。
- ◆ 見学時は研修医宿舎を無料でご利用いただけます。
(部屋数に限りがあるため、希望される方はお早めにお問い合わせください。)

お問い合わせ先

沖縄県立北部病院
臨床研修担当：総務課 宮城
〒905-8512
沖縄県名護市大中二丁目12番3号

電話：0980 - 52 - 2719 (内線2835)
FAX：0980 - 54 - 2298
Email: okihokukensyu@gmail.com

<http://www.hosp.pref.okinawa.jp/hokubu/>



国道58号線

